

第2回 六ヶ所村ラプソディー東日本市民サミット

～再処理工場 2 年延期を無期延期へ! 今こそ繋がり動くとき～

2011年2月26日(土) 13:00～20:00

27日(日) 9:30～12:30

会場: 仙台市市民活動サポートセンター

6階セミナーホールなど <http://www.sapo-sen.jp/>

参加費: 無料 (要申し込み)

主催: 六ヶ所村ラプソディー東日本市民サミット実行委員会

連絡先 wakamesanriku@yahoo.co.jp

980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目 1-3 LC6 わかめの会気付

FAX 022-728-9781

携帯 090-8819-9920 (たてわっきー)

*ホームページまたは Fax で①サミットへの参加②交流会への参加
③2次会への参加④宿泊の希望の申し込みをお願いします。

<http://lmswkm.net/summit>

協力: 生活協同組合あいコープみやぎ、三陸の海を放射能から守る岩手の会、三陸・宮城の海を放射能から守る仙台の会 (わかめの会)

子どもと海と空の会、PEACE LAND、地球とともに、豊かな三陸の海を守る会 (順不同)

ROKKAJIMA
Rhapsody
EAST JAPAN SUMMIT



第2回 六ヶ所村ラウンドテーブル東日本市民サミット～再処理工場 2年延期を無期延期へ！今こそ繋がり動くとき～

2010年9月はじめ、日本原燃は六ヶ所再処理工場の本格稼働を2年延期すると発表しました。これでなんと18回目の延期ですが、2年というのはこれまでで最長で、ガラス固化の技術のめどが全くたっていないことを意味しています。一方で試験稼働段階のいまでさえ、六ヶ所の大地と湖沼の放射能レベルは確実にあがっています。もし本格稼働すれば、さらに海へ空への放射能汚染は避けることができません。この2年延期は、再処理工場の息の根をギュッと止める絶好のチャンス到来です！

2009年2月に盛岡で開催した「第1回六ヶ所東日本市民サミット」は、主催者の予想を大きく上回る参加により熱気につつまれました。アクションプランのプレゼンと分科会での熱心な討論、また「しゃべり場」での思わぬ発言や、2日目の全体会でのステージと会場が一体となった盛り上がりは、これまでにない熱いイベントとなり、そこから4つのアクションプランが生まれました。

今回の第2回サミットでは、「2年で再処理の息の根を止める！」ことを合言葉に、どうやったらそれができるのかを、真剣にかつ具体的に話しあおうと考えています。具体的には、いま再処理が抱えている問題を①経済性 ②ガラス固化などの技術 ③放射能汚染の3つの側面から捉え返し、それを2年というスパンで世論形成や国・自治体への働きかけなどに、どのようにつなげていくのかの作戦を話あっていきたいと考えています。また、この問題を最近知った人などが参加しやすいように、初心者向けの何でもきける分科会も用意し、なんでも聞ける、そして皆でこれからの核燃サイクルの行方を考えていけるようにしたいとも考えています。

すでに自然エネルギーの普及や、スマートグリッドなどの技術の進歩により、放射能エネルギーに頼らなくてもいい時代がすぐそこまできています。「再処理工場2年延期を無期延期へ！今こそ繋がり動くとき！」ぜひみなさまのご参加・ご協力を！

■内容

・1日目(26日)

- (1) 再処理をめぐる3つの問題について主催者から話題提供
テーマは3つ ・経済性 ・技術面 ・放射能汚染
- (2) 分科会 ①経済性 アドバイザー：山田清彦(核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団事務局長)
②技術面・放射能汚染 アドバイザー：小山英之(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会代表)
アドバイザー：永田文夫(三陸の海を放射能から守る岩手の会世話人)
③ぶんぶんカフェ(初心者向けカフェ)
- (3) しゃべり場 誰がしゃべるか分からない「しゃべり場」みんなで大いに語り合おう！
- (4) 交流会(軽食つき1,000円)事前の申し込みをお願いします。
・交流会後の2次会についても申し込みをお願いします。

・2日目(27日)

- (5) 全体討論 分科会での議論を皆で共有し、実践モードへ！

アドバイザープロフィール

■山田清彦さん

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団事務局長 <http://www5a.biglobe.ne.jp/~genkoku/>

核燃から郷土を守る上十三地方住民連絡会議事務局長、核燃を考える住民の会代表、核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会事務局次長、社会党青森県連合上十三総支部幹事長。著作「再処理工場と放射能被ばく一下北「核」半島危険な賭け」「下北「核」半島危険な賭け一再処理・核燃サイクルの行く末」

■小山英之さん

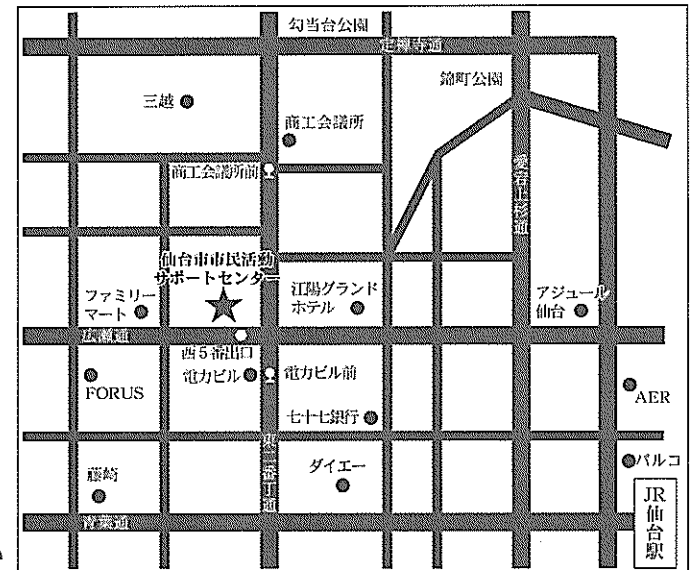
美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会(略称：美浜の会)代表 <http://www.jca.apc.org/mihama/>

スリーマイル島原発事故を契機に、関西電力の和歌山県への原発新規立地に反対する運動に参加。1988年より関西電力の運転中の原発に反対する運動を起し、1991年の美浜2号機事故を契機に「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」を結成し代表となる。その年、関西電力・高浜2号機の蒸気発生器問題で大阪地裁に提訴。1999年の関西電力・MOXデータ不正事件で大阪地裁に提訴。全国のプルサーマル問題や六ヶ所再処理問題に関与。

■永田文夫さん

三陸の海を放射能から守る岩手の会世話人。 <http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm>

放射能汚染からふるさとの自然と子ども達のいのちを守る会。岩手県で長年RI廃棄物問題(日本全国の病院や臨床検査施設から出る、放射性物質により汚染された試験管や注射器などの廃棄物。その施設が岩手県滝沢村にあるラジオメディカルセンター(RMC))に取り組んでこられた。2006年3月にアクティブ試験が開始された六ヶ所再処理工場に対して、その稼働中止を求めて青森県や事業者の日本原燃に申し入れるなど、三陸の海を守る活動を精力的に行なっている。



■会場へのアクセス

- ・地下鉄広瀬通駅 西5番出口すぐ
- ・市営バス「商工会議所前」徒歩3分
- ・ご来館には公共交通機関をご利用ください